2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科

授業科目 （科目ID）	臨床心理学 21d201	担当教員 （実務経験）	藤澤　雅子 有 ☑　無 □　歯科衛生士として、患者カウンセリングに従事しており、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	心理学の基礎知識を理解した上で、臨床での患者心理を考える。				
到達目標	心理学の基本的な知識や実験手法、先行知見を学ぶことにより、患者やスタッフの立場を客観的にとらえる考え方を論じることができる。				
テキスト・ 参考図書等	・わたしそしてわれわれ(北大路書房)				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	60%	①定期試験60% ②レポート20% ③提出物20%
	レポート	20%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	%	

履修上の 留意事項	①プリントや板書を中心とした講義形式の授業と、実際の体験やビデオによる学習なども取り入れる。 ②提出物は期限厳守。 ③その他、授業の進行に差し障りのある行為に対する諸注意を守る。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	脳と心	脳の成り立ちとその働き
2	知覚のプロセス	知覚の体制化・恒常性
3	動機づけと感情	動機づけと感情
4	行動の獲得と変容	古典条件づけ・オペラント条件づけ
5	成長と変化	遺伝と環境
6	パーソナリティ	類型論・特性論
7	心の構造	心的構造論
8	対人認知	パーソナリティの認知
9	親しみのコミュニケーション	会話の促進、男女のコミュニケーション
10	対人関係の発展	対人関係の発展プロセス・社会的交換理論
11	集団と人間	集団疑集性、集団規範、集団成員圧
12	住みやすい社会を築く	援助のメカニズム、社会的迷惑行為
13	協調できる社会をめざす	暴力犯罪の発生メカニズム、社会的スキルの重要性
14	広告と大衆	要請技法のアラカルト
15	文化と心	日本人らしさ

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科

授業科目 （科目ID）	生命と健康 21d202	担当教員 （実務経験）	宮野　晃一郎 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	生命倫理に関する幅広い知識や概念などについて理解する。				
到達目標	生老病死の意味、生命倫理の基本概念について理解し、生命の尊さを自らの生き方につなげて考え、論じることができる。				
テキスト・ 参考図書等	参考図書・医療の倫理：星野一正(岩波新書）・叢書現代の宗教9現代医学と宗教：日野原重明(岩波新書）・看護のための生命倫理：小林亜津子(ナカニシヤ出版）・現代医療の道徳的ジレンマ				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	80%	①定期試験80% ②レポート10% ③提出物10%
	レポート	10%	
	小テスト	%	
	提出物	10%	
	その他	%	

履修上の 留意事項	①提起したテーマについて、ビデオや参考書などの視聴や読書を通して学んだ基礎知識と教員の講義内容に基づいて、ディスカッションにより内容の理解を深めていくスタイルをとる。②授業の展開に当たっては、学生の発言の多寡が授業の内容を左右するので、学生の積極的な発言による授業参加を期待する。③章終了ごとにレポートの提出。未提出者及び提出に値しない内容のレポートについては、評価に関して減点の対象となるので、特段の注意をすること。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	考えることに慣れる(1)　自己の視点・他者の視点	自分が「ふつう」と思うことを、相手も「ふつう」と思っているとは限らない。自分と他者の観点の違いを体験する。
2	考えることに慣れる(2)　モラル・ジレンマ	問題に直面したとき貴方なら、どのように行動するか。モラル・ジレンマに対して自分なりに答えを出して見る。
3	健康について考える(1)	病気を治すこと、健康を気づかうことは自然なことである。しかし、どこまでも健康を追求すべきなのだろうか。
4	健康について考える(2)	現代医学では、受精卵の段階で病気の有無を調べることができる。自分たちの望みのままに子どもを創ることは許されるのだろうか。
5	健康について考える(3)	現代医学では、遺伝病のリスクを診断することはできる。しかし、すべての病気に治療法が存在するわけではない。治療法がなくても知ることは「よい」ことなのだろうか。
6	健康について考える(4)	ヒトゲノムの解析によって、人間の在り方は大きく変わる可能性がある。遺伝子で人間を判断する社会とは、どのようなものなのか。
7	生命について考える(1)	日本は中絶天国と呼ばれるほど人工妊娠中絶の規制が緩い。生命が重さを失いつつある現在、改めて人工妊娠中絶について考える。
8	生命について考える(2)	晩婚化・出産の高齢化が進行すると同時に、少子高齢化が進んでいる。しかし、他の女性を道具とする代理出産は道徳的に許されるのだろうか。
9	生命について考える(3)	延命技術の発達によって、いまや私たちは「どのように死ぬか」を自ら考えなければならなくなった。ターミナルケアについて考える。
10	生命について考える(4)	医療技術には限界がある。現状では「死の自己決定」(安楽死・尊厳死)から目を背けることはできない。「死の自己決定」の意義と問題点を考える。
11	生命について考える(5)	もし視力を失ってしまったら、あなたはどうしますか。暗闇と沈黙のなかで生きるとはどのようなことなのだろうか。それでも人間として生きることは可能だろうか。
12	移植医療について考える(1)	臓器移植に賛成する者が多いのに、ドナーカードの普及率は極端に低い。日本における臓器移植の現状について考える。
13	移植医療について考える(2)	臓器移植の技術が進むと、移植用臓器の不足は避けられない。先進諸国が途上国の臓器を買い叩いている現実について考える。
14	組織における人間の行動(1)	自分が勤務している会社(医療機関)が不正していることを知ったとき、貴方はどのような行動をとるだろうか。
15	組織における人間の行動(2)	内部告発した者を保護する「公益通報者保護法」が2006年に施行された。その内容を理解し、問題点について考える。

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科

授業科目 （科目ID）	歯科衛生統計（演習含む） 21d203	担当教員 （実務経験）	藤澤　雅子 有 ☑　無 □　歯科衛生士として、歯科統計学の手法を使い学会発表しており、当該科目の教育を行う。別紙1参照		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義・演習	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	歯科保健に関する統計資料を読み解き、歯科衛生士に必要な知識を習得する。				
到達目標	各種社会調査結果の見方および口腔健康指標の基本的統計処理方法を理解し、活用することができる。				
テキスト・ 参考図書等	・最新歯科衛生士教本「保健情報統計学」(医歯薬出版)　・参考資料 、プリントの配布　・電卓(学生が準備、携帯の電卓機能は不可)				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	50%	①定期試験50% ②PC演習レポート25% ③事前学習プリント25%
	レポート	25%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	25%	

履修上の留意事項	授業は、教本に沿って、講義・演習を取り入れる。表・グラフの書き方・読み方について実務的なトレーニングを行うと共に、数値処理になれるようにする。必ず自分で考えて提出作成すること(計算すること)。特に、PC操作実習は欠席しないこと。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	1章　保健情報と保健統計　（藤澤）	保健情報、保健統計、保健情報の種類、国家統計調査
	2	2章　保健情報と疫学　（藤澤）	疫学、健康障害の発生要因、疫学の方法論
	3	3章　歯科疾患の指数1～3　（藤澤）	数量化と指数、齲蝕の指数(DMF、RIDなど)
	4	3章　歯科疾患の指数1～3　（藤澤）	歯周疾患の指数(PMA、GI、PIの演習)
	5	3章　歯科疾患の指数4　（藤澤）	口腔清掃状態の指数(OHI、Q＆HのPI、PHP、PCRなど)
	6	3章　歯科疾患の指数5　（藤澤）	不正咬合と歯列不正の指数、フッ素症指数、歯科保健指標
	7	4章　保健情報の分析手順　（藤澤）	保健情報の収集、調査など
	8	4章　保健情報の分析手順　（藤澤）	保健情報の収集、質問紙作成手順など
	9	5章　保健統計の方法1～2　（藤澤）	データの特性(データの尺度、分布)、記述統計(代表値、散布値、相関)
	10	5章　保健統計の方法3　（藤澤）	推定と信頼区間
	11	5章　保健統計の方法4　（藤澤）	t検定(1標本、2標本、3標本)など
	12	6章　保健情報の分析演習1　（佐藤）	プレゼンテーション：データの表現、図表の種類と特徴
	13	6章　保健情報の分析演習2　（佐藤）	プレゼンテーション：データの表現、図表の作り方
	14	6章　保健情報の分析演習3　（佐藤）	t検定、χ2検定などのやり方
	15	6章　保健情報の分析演習4　（藤澤）	保健情報の多変量解析(重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析)

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科　　別紙1

授業科目 （科目ID）	歯科衛生統計（演習含む） 21d203	担当教員 （実務経験）	佐藤　昌代 有 ☐　無 ☑　PCを使っての情報処理演習に従事し、当該科目の教育を行う。
対象年次・学期	2年・後期	担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
授業形態	講義・演習	担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐

2023年度　　歯科衛生学科

授業科目 （科目ID）	生命・医療倫理学 21d204	担当教員 （実務経験）	松本　崇嗣 有 ☑　無 ☐　歯科衛生士として、医療倫理に基づいて業務に従事しており、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	8	時間数	16時間
授業目的	歯科衛生士に求められる心構えやインフォームド・コンセントに基づいた患者対応、医療現場で必要となるコミュニケーション技術やその基礎となる行動科学について学ぶ。				
到達目標	チームの医療の一員として倫理的判断に基づいた行動がとれること。インフォームド・コンセントや生活の質（QOL）について理解し、それを説明・実践できること。				
テキスト・ 参考図書等	・最新歯科衛生士教本「歯科医療倫理」(医歯薬出版)				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	70%	①定期試験70% ②レポート20% ③コミュニケーション能力・プレゼン能力10%
	レポート	20%	
	小テスト	%	
	提出物	10%	
	その他	10%	

履修上の 留意事項	①教本を中心に講義を進めていきます。講義では新しい医の倫理の原則を学びます。②実際に起こり得る倫理的問題への対象の仕方について具体的な事例を取り上げ、「ケアの倫理的問題」の実践的教育を実施します。③さまざまな考えをレポートにしてまとめる。④決められた期日にレポートを提出すること。 ⑤グループディスカッションでは、自分の考えをまとめて話せること。⑥人の考えを聞けること。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	新しい医の倫理（松本）	医師中心の医療から患者中心の医療へ
2	バイオエシックス（生命倫理学）（佐藤）	バイオエシックスとは何か
3	バイオエシックスに関わる問題（佐藤）	生命の始まりと終わりに関する問題
4	インフォームド・コンセント（松本）	インフォームド・コンセントの実際
5	研究と医療倫理（松本）	研究と倫理的な配慮
6	歯科医療倫理に必要な行動（松本）	患者と医療従事者の行動
7	行動科学（松本）	医療従事者の行動特性
8	チームアプローチとは（松本）	チームアプローチの成功のポイント
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科　　別紙1

授業科目 （科目ID）	生命・医療倫理学 21d204	担当教員 （実務経験）	佐藤　真紀子 有 ☑ 無 ☐	医師として、医療倫理に基づいて業務に従事しており、当該科目の教育を行う。
対象年次・学期	2年・前期	担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
授業形態	講義			
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科

授業科目 （科目ID）	歯内療法・歯周療法学 21d205	担当教員 （実務経験）	川浪　雅光 有 ☑　無 □　歯科医師として、歯内・歯周治療に従事しており、当該科目の教育を行う。別紙1参照		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	20	時間数	40時間
授業目的	歯内療法・歯周療法の基本知識を理解する。				
到達目標	歯内疾患を述べることができる。歯内治療における歯科衛生士の役割を述べることができる。歯周疾患を述べることができる。歯周療法における歯科衛生士の役割を述べることができる。				
テキスト・ 参考図書等	・最新歯科衛生士教本「歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法」(医歯薬出版) ・最新歯科衛生士教本「歯周病学」(医歯薬出版)　　・必要に応じてプリント配布				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	80%	①定期試験80% ②提出物（毎回の重要の要点をまとめたレポート）20%
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	%	

履修上の留意事項	①歯科衛生士教本を教科書として、黒板、スライド、ビデオなどを使って講師による授業を基本に、学生に課題を与え、口頭で発表させたり、レポートの提出によって、学生の理解を判断しながら進める。　②授業中は集中して、その場で理解するようにすること。　③理解できない時は、積極的に質問すること。 ④予習をして、理解できない点を把握して授業で質問すると容易に理解ができる。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	歯周疾患1（松本）	歯周組織の構造と機能
2	歯内療法1（川浪）	歯内療法学の概要
3	歯周疾患2（松本）	歯周疾患の病態、原因、疫学
4	歯内療法2（川浪）	歯の痛み
5	歯周疾患3（松本）	歯周治療の進め方
6	歯内療法3（川浪）	歯髄疾患
7	歯周疾患4（松本）	歯周疾患の診査・診断
8	歯内療法4（川浪）	根尖性歯周組織疾患
9	歯周疾患5（松本）	基本治療(モチベーション、患者指導)
10	歯内療法5（川浪）	歯髄保存療法
11	歯周疾患6（松本）	基本治療(口腔清掃指導)
12	歯内療法6（川浪）	歯髄除去療法と器械・器具
13	歯周疾患7（松本）	基本治療(スケーリング・ルートプレーニング)
14	歯内療法7（川浪）	感染根管治療
15	歯周疾患8（松本）	外科的歯周治療

	回数	履修主題	履修内容
履修主題、履修内容	16	歯内療法8（川浪）	根管充填
	17	歯周疾患9（松本）	咬合性外傷に対する治療法
	18	歯内療法9（川浪）	外科的歯内療法
	19	歯周疾患10（松本）	サポーティブセラピー
	20	歯内療法10（川浪）	歯内療法における偶発症

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科　　別紙1

授業科目 （科目ID）	歯内療法・歯周療法学 21d205	担当教員 （実務経験）	松本　崇嗣 有 ☑　無 ☐	歯科衛生士として、歯科保健指導業務を実施しており当該科目の教育を行う。
対象年次・学期	2年・前期	担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
授業形態	講義			
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科

授業科目 （科目ID）	矯正歯科学 21d206	担当教員 （実務経験）	丸岡　春日 有 ☑　無 □　歯科医師として、矯正治療に従事しており、当該科目の教育を行う。 別紙1参照		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義・演習	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	矯正学の基本的な知識を身につけ、日常的に歯科で受ける矯正学的疑問を自分で調べる力を養う。				
到達目標	国家試験に必要な基礎知識を身につけること。将来的に歯科医療機関で矯正治療のスタッフになり得る知識を持つこと。				
テキスト・ 参考図書等	・最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常2　歯科矯正」(医歯薬出版)　・参考資料　・プリントの配付				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	80%	①定期試験80% ②レポート10% ③出席点10%
	レポート	10%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	10%	

履修上の留意事項	①基本的には教科書に沿って説明する。 ②必要に応じてプリントも配付する。 ③単元ごと必要に応じて小テストを行い、確認をする。 ④授業中に入退室、携帯電話の使用、私語は減点の対象とする。 ⑤学生としての心得をわきまえ、礼節ある態度で受講する。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	Ⅰ－1章　基礎知識、矯正歯科治療の概要　（丸岡） Ⅰ－2章　基礎知識、成長・発育	矯正歯科治療の目的・需要・必要性 頭蓋・顎顔面・歯・歯列の発育、身体の成長・発育
	2	Ⅰ－3章　基礎知識、正常咬合・不正咬合　（丸岡）	正常咬合、不正咬合の分類・原因・予防
	3	Ⅰ－4章　矯正歯科診断　（丸岡）	矯正治療における診断と必要な検査、症例分析・非抜歯治療と抜歯治療
	4	Ⅰ－5章　矯正歯科治療と“力”－矯正力・保定　（丸岡）	歯の移動と固定、組織反応、歯の移動様式、矯正力と顎整形力、保定
	5	Ⅰ－6章　矯正装置　（丸岡）	可撤式矯正装置・固定式矯正装置、機能的矯正装置、上顎拡大装置・顎外固定装置、口腔習癖除去装置・保定装置など
	6	Ⅲ－1章　診断に関わる業務　（丸岡）	検査の補助、インフォームドコンセント
	7	Ⅲ－2章　診療時の業務1　（丸岡）	矯正用器具・材料の準備と取り扱い、装置時の補助と指導
	8	Ⅲ－2章　診療時の業務2　（丸岡）	機能的矯正装置装着時の補助と指導、顎外固定装置装着時の補助と指導
	9	Ⅲ－1章　矯正歯科診断にかかわる業務　（萱野）	矯正歯科における歯科衛生士の役割
	10	Ⅲ－2章　矯正歯科診療時の業務1　（萱野）	各種プライヤー使用方法・把持方法
	11	Ⅲ－2章　矯正歯科診療時の業務2　（萱野）	各種ワイヤーの取り扱い、ブラケット装着の流れとアシスタントワーク
	12	Ⅲ－2章　矯正歯科診療時の業務3　（萱野）	バンドセット流れ
	13	Ⅲ－2章　矯正歯科診療時の業務4　（萱野）	ブラケットセット流れ
	14	Ⅲ－2章　矯正歯科診療時の業務5　（萱野）	結紮実習
	15	Ⅲ－3章　矯正歯科患者と口腔保健管理　（萱野）	矯正装置周囲のTBIについて

2022年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科　　別紙1

授業科目（科目ID）	矯正歯科学 22d206	担当教員 （実務経験）	萱野　美帆 有 ☑ 無 ☐	歯科衛生士、矯正治療に従事しており、当該科目の教育を行う。
対象年次・学期	2年・前期	担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
授業形態	講義・演習			
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科

授業科目 （科目ID）	歯科放射線学 22d207	担当教員 （実務経験）	箕輪　和宏 有 ☑　無 □　歯科医師として、放射線撮影業務に従事しており、当該科目の教育を行う。別紙1参照		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	放射線に対する正しい知識を習得する。				
到達目標	画像診断の意義と放射線の取り扱いの基本を述べることができる。				
テキスト・ 参考図書等	・最新歯科衛生士教本「歯科放射線」(医歯薬出版)				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	90%	①定期試験90% ②レポート10%
	レポート	10%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	%	

履修上の 留意事項	①必要なことは黒板に板書し、理解を深めるためパソコンでプレゼンテーションを行う。 ②質問を歓迎する。 ③一方的な授業は避けたい。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	1章　歯科医療と放射線　（箕輪）	放射線とその性質
2	2章　エックス線画像の形成　（岩井）	エックス線と画像の形成、エックス線フィルムと増感紙、デジタル画像系
3	3章　歯科におけるエックス線検査　（岩井）	口内法エックス線撮影、パノラマエックス線など
4	4章　口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割1　（岩井）	全顎撮影(10枚法)の部位別撮影の要点(実習1-①)
5	4章　口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割2　（岩井）	口内法エックス線写真のみかた(実習1-②)
6	4章　口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割3　（岩井）	写真処理と画像保管の実際(実習1-③)
7	4章　口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割4　（岩井）	咬翼法・咬合法の撮影の要点(実習2―①)
8	4章　口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割5　（岩井）	口内法エックス線写真のみかた(実習2―②)
9	4章　口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割6　（岩井）	写真処理と画像保管の実際(実習2-③)
10	5章　パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割1　（岩井）	パノラマエックス線撮影の準備(実習3－①)
11	5章　パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割2　（岩井）	パノラマエックス線写真のみかた(実習3－②)
12	5章　パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割3　（岩井）	写真処理と画像保管の実際(実習3－③)
13	6章　写真処理と画像保管の実際　（松本）	現像と定着、手現像と自動現像、デジタル撮影など
14	7章　放射線治療と口腔管理　（松本）	CT、MRI、超音波、頭頸部癌の治療と口腔衛生
15	総括　（藤澤）	まとめ

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科　　別紙1

授業科目 （科目ID）	歯科放射線学 22d207	担当教員 （実務経験）	藤澤雅子 有 ☑ 無 ☐	歯科衛生士として、放射線撮影業務に従事しており、当該科目の教育を行う。
対象年次・学期	2年・前期	担当教員 （実務経験）	松本　崇嗣 有 ☑ 無 ☐	歯科衛生士として、放射線撮影業務に従事しており、当該科目の教育を行う。
授業形態	講義	担当教員 （実務経験）	岩井　七海 有 ☑ 無 ☐	歯科医師として、放射線撮影業務に従事しており、当該科目の教育を行う。別紙1参照
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐	

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科

授業科目 （科目ID）	歯科予防処置法Ⅱ 21d208	担当教員 （実務経験）	松本　崇嗣 有 ☑　無 □　歯科衛生士として、う蝕や歯周病の予防業務を実施しており当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	講義・演習	授業回数（1回90分）	45	時間数	90時間
授業目的	シックルスケーラー、キュレットスケーラー操作の技能の習得。歯面研磨、PMTCの技能の習得。超音波スケーラー、エアスケーラー操作の技能の習得。				
到達目標	齲蝕予防に関する口腔保健管理ができる。歯周病予防に関する口腔保健管理ができる。歯周疾患の初期治療ができる。				
テキスト・ 参考図書等	・最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)　・使用器材:スケーラーセット、顎模型、口腔ケアセット				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	80%	①定期試験80% ②レポート10% ③実習態度・技能点10%
	レポート	10%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	10%	

履修上の留意事項	①2人、3人1組の相互実習を中心に行う。 ②スケーラー操作の技能が目標基準に達していない人は補習をする。　③スタンダードプレコーションに従って相互実習を実施する。 ④体調管理に気を付ける(欠席、遅刻、早退は厳禁)。　⑤実習生としてのマナー、清潔な白衣、エプロン、実習靴、マスク、グローブを身につける。化粧・毛染めはしない、頭髪、爪、ピアスは外す。挨拶、返事、言葉遣い。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	Ⅲ編　1章歯科衛生過程の進め方1	Ⅲ編　1章―❶歯科衛生過程の進め方　❷歯科衛生過程の各構成要素
	2	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理1	2章―❶患者からのの情報収集　❷全身の健康状態の把握（相互実習1）
	3	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理2	3章―❸分析のためのデータ（口腔衛生状態の指数：相互実習1）
	4	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理3	3章―❸分析のためのデータ（口腔衛生状態の指数：相互実習2）
	5	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理4	3章―❸分析のためのデータ（歯周疾患の指数：相互実習1）
	6	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理5	3章―❸分析のためのデータ（歯周疾患の指数：相互実習2）
	7	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理6	3章―❸分析のためのデータ　2.口腔内写真撮影（相互実習1）
	8	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理7	3章―❸分析のためのデータ　2.口腔内写真撮影（相互実習2）
	9	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理8	3章―❸分析のためのデータ　2.エックス線写真（症例検討1）
	10	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理9	3章―❸分析のためのデータ　2.エックス線写真（症例検討2）
	11	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理10	3章　3.歯周病に関する検査(演習)
	12	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理11	3章　4.う蝕に関する検査　う蝕活動性試験（歯垢検査と唾液検査）
	13	Ⅲ編　2章歯科衛生アセスメントとしての情報取集と情報処理12	3章　5.う蝕に関する検査　う蝕活動性試験（演習）
	14	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置1（佐竹）	インプラント治療の概要～歯科衛生士の立場から
	15	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置2（佐竹）	インプラント治療の基本構造

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置3(佐竹)	インプラントのためのコンサルテーション
	17	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置4(佐竹)	インプラント手術での歯科衛生士の役割
	18	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置5(佐竹)	インプラント治療の概要～歯科医師の立場から
	19	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置6(松本)	インプラント患者のメインテナンス(相互実習)
	20	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習1	3章―❶-歯周検査＋SRP実習(マネキン実習)
	21	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶検査実習1	3章―❶-①下顎前歯部:PCR検査＋SRP実習(相互実習:練習)
	22	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶検査実習2	3章―❶―②下顎前歯部:PCR検査+SRP実習(相互実習:評価)
	23	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶検査実習3	3章―❶-③下顎前歯部:歯周検査＋SRP実習(相互実習:練習)
	24	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶検査実習4	3章―❶―④下顎前歯部:歯周検査+SRP実習(相互実習:評価)
	25	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶検査実習5	3章一歯科衛生評価;症例検討2
	26	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習1	3章―❶―⑤上顎前歯部:SRP+PTC実習(相互実習:練習)
	27	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習2	3章―❶―⑥上顎前歯部:SRP+PTC実習(相互実習:評価)
	28	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習3	3章―❶―⑦下顎右側臼歯部:SRP+PMTC実習(相互実習:練習)
	29	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習4	3章―❶―⑧下顎右側臼歯部:SRP+PMTC実習(相互実習:評価)
	30	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習5	3章一歯科衛生評価;症例検討3
	31	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習6	3章―❶―⑨下顎左側臼歯部:超音波スケーラー＋SRP実習(相互実習:練習
	32	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習7	3章―❶―⑩下顎左側臼歯部:超音波スケーラー＋SRP実習(相互実習:評価
	33	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習8	3章―❶―⑪上顎右側臼歯部:エアスケーラー+SRP実習(相互実習:練習)
	34	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習9	3章―❶―⑫下顎右側臼歯部:エアスケーラー+SRP実習(相互実習:評価)
	35	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習10	3章―❶―PCR検査＋歯面清掃実習(相互実習:練習)
	36	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習11	3章―❶―PCR検査＋歯面清掃実習(相互実習:評価)
	37	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置　❶SRP実習12	3章一歯科衛生評価;症例検討4
	38	Ⅲ編　1章歯科衛生過程の進め方1　(校内実習1:準備)	Ⅲ編　1章―❷歯科衛生過程の各構成要素　評価
	39	Ⅲ編　1章歯科衛生過程の進め方1　(校内実習2:準備)	Ⅲ編　1章―❷歯科衛生過程の各構成要素　評価
	40	Ⅲ編　1章歯科衛生過程の進め方3　(校内実習1)	症例検討演習1(模擬患者検討実習1)
	41	Ⅲ編　1章歯科衛生過程の進め方3　(校内実習2)	症例検討演習1(模擬患者検討実習2)
	42	Ⅲ編　1章歯科衛生過程の進め方3　(校内実習3)	症例検討演習1(模擬患者検討実習3)
	43	Ⅲ編　1章歯科衛生過程の進め方3　(校内実習4)	症例検討演習1(模擬患者検討実習4)
	44	Ⅲ編　1章歯科衛生過程の進め方3　(校内実習:記録)	症例検討演習5(模擬患者検討実習5)
	45	Ⅲ編　3章　歯科衛生介入のための歯科予防処置(木村)	レーザー治療の概要・実際(症例)

2023年度　　吉田学園医療歯科専門学校　　歯科衛生学科　　別紙1

授業科目 （科目ID）	歯科予防処置法Ⅱ 21d208	担当教員 （実務経験）	佐竹　朋香 有 ☑　無 ☐	歯科衛生士として、う蝕や歯周病の予防業務を実施しており当該科目の教育を行う。
対象年次・学期	2年・通年	担当教員 （実務経験）	木村　翔馬 有 ☑　無 ☐	歯科医師として、う蝕や歯周病のレーザー治療業務を実施しており当該科目の教育を行う。
授業形態	講義・演習			
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐	